

重要なまちづくりの課題の現状評価シート

《評価シートの見方》

重要なまちづくりの課題(めざすべき姿)	性別や立場に関係なく家庭・地域で対等な役割分担がされている
施策名	男女それぞれの個性や能力を生かせる環境をつくる No.51

年度	平成28年度
市民ニーズに基づいた市のめざすべき姿と、それを実現するための市の施策を記載しています。	

1. まちづくり指標の現状

まちづくり指標	指標のめざす方向	実績値						目標値
		現状値						
		H18	H20	H21	H22	H23	H24	
地域活動への参加経験者の割合(%)	→	41.4	43.0	40.9	43.1	43.6	43.2	47.5
		43.2	43.1	45.4	44.7	41.7		54.1
性別や立場に関係なく、家庭・地域で自由に意見交換ができると思う人の割合(%)	→	27.6	27.6	26.4	32.4	32.1	32.9	34.5
		32.9	33.1	30.5	31.2	33.0		40.9

重要なまちづくりの課題(めざすべき姿)の改善状況を測定するための指標で

重要なまちづくりの課題(めざすべき姿)に影響を及ぼしていると考えられる社会的な兆しや動向、市行政以外の主体の動きや影響についての記述で

2. 外的要因(世論、自然環境、社会動向、民間・NPO活動等)

若い世代では、若い男性の育児・家事への関心の高まりや共働き家庭の増加などが徐々になくなりつつある。一方、年配の世代においては、いまだ固定的な性別役割分担意識が根強く残っている。また、町内会などの地域活動では、女性に比べ、男性は一般的に地域のつながりがあり、地域活動の意識の低下や仕事が忙しく地域活動との両立が難しいといった現状がある。平成27年8月に「女性活躍推進法」が成立し、女性の活躍に対する機運が高まってきている。

3. めざすべき姿に対する現状評価(まちづくり指標や外的要因等からの評価)

現状評価	B 停滞	「地域活動への参加経験者の割合」は、昨年度より減少し、「性別や立場に関係なく、家庭・地域で自由に意見交換ができると思う人の割合」は、微増で推移している。「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」といった固定的な性別役割分担意識は、徐々に減少傾向にあるもののいまだ根強く残っており、男女間や世代間には少なからず差がある。
------	----------------	---

まちづくり指標の趨勢及び目標値との乖離状況、外的要因等から、「重要なまちづくりの課題(めざすべき姿)」に対する改善状況を「A:改善傾向」「B:停滞」「C:悪化傾向」と評価しています。行政活動の評価ではありません。

評価がB・Cの場合

4. 事務事業群に対する評価(行政活動の評価)

長期成果(事業群①)	長期成果(事業群②)	長期成果(事業群③)	長期成果(事業群④)
家庭生活において、男女が互いに協力している	地域活動において、男女が互いに協力している		
男性が参加しやすい生活実践講座の開催	男女共同参画に関するイベント等開催		
父親の育児参加の促進	男女共同参画意識の啓発事業		
子育ての学習機会の提供	各種女性団体指導者養成事業		
男女共同参画推進事業	地域における活動団体への支援		

現状評価が「B:停滞」「C:悪化傾向」となった場合、めざすべき姿の一手手前の状況を長期成果として分解し、また、その長期成果を達成するための事業を掲載しています。

長期成果の設定方法や各長期成果を達成するための事業が有効であるかどうか、また、必要十分であるかどうかなど行政活動に対する評価・点検をします。めざすべき姿は、市民の生活実感に根ざしたところから課題を拾い上げているため、その課題の中には、市の行政活動だけで達成できないものもあります。そういった状況も考慮し、家庭や地域、NPO、民間企業、学校など様々なまちづくりの主体に期待される役割についても記載しています。

評価観点	1. 長期成果は重要なまちづくりの課題(めざすべき姿)の一手手前の状態となっており、モレなくダブりなく設定されているか。 2. 各事業群の事務事業は、長期成果を達成するのに必要十分であるか。
評価	長期成果は、男女それぞれの個性や能力を生かせる環境を「家庭生活」と「地域活動」からとらえており、問題ない。家庭や地域で根強く残る、固定的な性別役割分担意識は、個人個人の価値観や考え方によるところが大きく、この意識を変えていくことは、行政の事業活動だけでは難しい。今後も男性への育児参加や地域活動への参加など、男女平等の意識づくりを進め、粘り強く意識啓発に努める。
次年度の改善計画	固定的な性別役割分担意識を変えるためには、市で開催する講座、セミナーにより男女平等の意識啓発が必要と思われるが、もっと参加者を増やすために、関係各課の情報を共有し、横断的な周知方法も検討していく。また、講座等に参加しやすいように開催日時を工夫し、積極的【改善】男女共同参画意識の啓発

市民による「一宮市総合計画に関する会議」の28年度参加者に、めざすべき姿に対する改善状況についてご意見をいただき、その割合を記載しています。

市民からみた計画の進捗状況

- ・A判定(改善傾向) 17%
- ・B判定(停滞) 63%
- ・C判定(改善傾向) 20%

